## 授業で勝負・光手必勝の挨拶・心を耕す読書

金ケ崎町立金ケ崎中学校 令和元年度校報 第21号

令和元年9月4日発行

文責:遠藤

## 農業講話 1 年

8月21日(水)に1年生を対象に「農業講話」 を実施しました。翌週に「農業体験」を実施する前に、 その意識付けも兼ねて行いました。講師には、岩手県立 水沢農業高等学校々長富山先生をお願いしました。講 話は3部構成で、1部農業の意義・2部農業の現状・3 部金ケ崎農業の未来を1年生の諸君に分かりやすく、御 講話頂きました。



この講話で学んだ諸君の**感想**を紹介します。

〇この講演でとても金ケ崎は農業が盛んなことが分かりました。特に水はとても必要で、でも水がなくなりそうな所があると聞いて驚きました。他にも牛には、お米 1kg分(収穫するための水)よりも水が必要という事です。祖母は田んぼでお米を作っていて、私も手伝うことがあります。1からやると、とても大変でした。でも、そうやって頑張って作るお米は美味しいです。私も農業関係の仕事に興味があるので、体験学習でしっかり学んで来たいです。

〇日本の農業だけでなく、世界のことも話してくれました。私の周りには田んぼが沢山あって、その役割はお米

を作るだけではなく、水の量をコントロールする役割も していることを初めて知りました。農業は、家で受け継 ぐだけではなく、会社が持っている土地や機械を使い、 その会社に就職して働くという働き方もあることに驚き ました。



〇僕が驚いたのは、農業ができる会社があることです。 しかも、東京等の都市だけではなく岩手でもやっている のです。また、その主な理由も分かりました。農業、工 業、商業、人、道がそろっているところだと初めて知り ました。さらに農業の面白さには「ゴールはない」とい うのがありましたが、説明を聞いてなるほどと思いまし た。農業には様々な機械や農薬、品種などがあります。 それらを工夫し、改良することで美味しい農産物がとれ るのだと思います。農業体験頑張ります。

〇印象に残ったこと2つあります。1つは「働き方が変わっている」ということです。昔は田植えなどは手で行っていたけど、今はほとんどの人が機械を使っているということにとても驚きました。日本は先進国なので、そういうものを取り入れているのかなと思いました。2つ目は「岩手が農業をやるのに適している」ということです。とても広い土地を持っているし、自然豊かです。私が思っていた以上に農業をやるのに適していました。農業体験に生かせるようにしたいです。

大変貴重な講話となりました。私は「**農業で大切なこ とは「創造する」こと**」という**畠山校長先生の言葉がと ても印象深く残りました。**農業体験学習にむけて、よい動機付けとなる講話となったものと思います。

この農業講話を受けて、1年生諸君は8月27日(火)に町内の農家や法人組合等での「**農業体験」**を実施しました。体験を受け入れ、ご指導頂いたのは次の方々です。大変ありがとうございました。

○ JA岩手ふるさと金ケ崎地域センター 畜産課 (見学、搾乳体験等)



- ○千田 さん (ピーマン収穫)
- ○農事組合法人ドリーム 21

(ミニトマト収穫、産直出荷等)

○ (株) よこみちファーム

(アスパラ、ミニトマト収穫等)



- ○千葉 さん (大豆畑草取り、牛舎掃除)
- ○**鈴木** さん (ピーマン収穫、除草)
- ○**アイシン東北** さん

(菌床シイタケ生産に関わる関連業務)

○**岩手県農業大学校** さん (花苗の鉢上げ、鉢花の手入れ、切り花管理)

○ (有) ライフクリエイトケイ

- (水稲、野菜の生産販売に係る作業)
- ○SUファーム長志田

(ピーマン収穫、分別袋詰め)

## 【生徒の声・・・・学年通信『心』より】

☆農業体験で酪農の大変さ、楽しさを学ぶことができた。 体験前は酪農は朝早く起きたり大変だと思っていたが、 酪農家の一日を知り実際にえさやりをして、もちろん大 変なこともあるけど、牛とのコミュニケーションをとる うちに子どもみたいに可愛く思えてきた。酪農家の方々 はこんな感情を持って酪農に取り組んでいるのかと思い ました。



☆ミニトマトの収穫からパック詰め作業までを体験した。 トマトを収穫して詰めて出荷するだけではなく、大きさ を選別し、一つ一つ丁寧に磨いて出荷するまでにこんな に沢山の手間がかかることに驚きました。今も昔も農業 は一人ではできないものだと感じた。

貴重な体験学習ではなかったかと思います。金ケ崎の 基幹産業である農業の新たなスタイルがこれからますま す大きく展開していくことでしょう。その担い手となる のは、諸君らです!!



21日(水)の農業講話後に、JA 岩手ふるさとの農業地域活性化委員会より「作業用手袋」のプレゼントがありました。この作業用手袋は、今回取り組む農業体験で是非使用してほしいという激励のプレゼントでした。

この手袋の贈呈には、**活性化委員長小心**島さんと **JA** 岩手ふるさと金ケ崎地域センター長力D 藤 さんが来校されました。お二人からは農業体験にむけて、1 年生諸君に激励の言葉を頂きました。

